

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	知事政策局働き方改革・女性活躍推進室	班・係	少子化対策担当
TEL(直通)	076-444-2174		

KPI番号	1							
KPI名	平均初婚年齢							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	夫30.8歳 妻29.1歳	夫30.9歳 妻29.2歳	夫30.9歳 妻29.2歳	夫31歳 妻29.3歳	夫30.8歳 妻29.1歳	夫30.7歳 妻29.1歳	引き下げる	-
評価指標動向の説明	・本県の平均初婚年齢は、近年夫、妻ともに横ばい傾向にあるが、何れも全国平均(夫31.0歳、妻29.4歳)より下回っている。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	夫、妻ともに横ばい傾向にあるが、少子化を取り巻く現状は厳しさを増しているため、要努力とした。							
目標達成に向けた課題	結婚に結びつけるために、早い時期から出会いの機会を提供する必要がある。							
今後の取組み	とやまマリッジサポートセンターの登録者数を増やし、さらなる平均初婚年齢の引き下げを目指す。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	知事政策局働き方改革・女性活躍推進室	班・係	少子化対策担当
TEL(直通)	076-444-2174		

KPI番号	2							
KPI名	未婚率(25歳～29歳)							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	男性73.6% 女性59.4%	-	-	-	-	未公表 (R3.11以降公表予定)	引き下げる	-
評価指標動向の説明	・本県の未婚率(25歳～29歳)は上昇傾向にあり、全国平均(男性72.7%、女性61.3%)を男性は上回っており、女性は下回っている。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	R2国勢調査の結果が未公表であるが、本県の婚姻率が近年減少していることから、未婚率の増加が類推されるため、要努力とした。							
目標達成に向けた課題	結婚に結びつけるために、とやまマリッジサポートセンターについて更なる周知を図る必要がある。							
今後の取組み	とやまマリッジサポートセンターの登録者数を増やし、未婚率(25歳～29歳)の引き下げを目指す。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	知事政策局働き方改革・女性活躍推進室	班・係	少子化対策担当
TEL(直通)	076-444-2174		

KPI番号	3							
KPI名	未婚率(30歳～34歳)							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	男性47.9% 女性32.6%	-	-	-	-	未公表 (R3.11以降 公表予定)	引き下げる	-
評価指標動向の説明	<p>・本県の未婚率(30歳～34歳)は上昇傾向にあるが、全国平均(男性47.1%、女性34.6%)を男性は上回っており、女性は下回っている。</p>							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	R2国勢調査の結果が未公表であるが、本県の婚姻率が近年減少していることから、未婚率の増加が類推されるため、要努力とした。							
目標達成に向けた課題	結婚に結びつけるために、とやまマリッジサポートセンターについて更なる周知を図る必要がある。							
今後の取組み	とやまマリッジサポートセンターの登録者数を増やし、未婚率(30歳～34歳)の引き下げを目指す。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	厚生部健康対策室	班・係	母子・歯科保健担当
TEL(直通)	076-444-3226		

KPI番号	4							
KPI名	妊娠11週以下での妊娠の届出率							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	92.7%	93.3%	93.4%	94.7%	94.9%	2022.3月頃 公表予定	100.0%	-
評価指標動 向の説明	本県の妊娠11週以下での妊娠届出率は、目標値には達していないが、高い割合を維持しており、改善傾向にある。(参考:全国平均 R1 93.5%)							
目標達成の 見通し	要努力							
目標達成の 見通しの 判断理由	年次推移は改善傾向であるが、目標達成には引き続き努力を要する。							
目標達成に 向けた課題	妊娠届出は、母子健康手帳の交付など市町村の母子保健サービスに繋がる重要な機会であることから、早めに届け出るよう、市町村においてさらなる周知を図る必要がある。							
今後の 取組み	県では、引き続き各市町村における届出状況を把握するとともに、市町村と産科医療機関との連携による気がかりな妊婦に対する支援を推進していく。加えて、県女性健康相談センター事業を通じて把握した特定妊婦等を、早期届け出や必要な支援に繋げていく。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	厚生部健康対策室	班・係	母子・歯科保健担当
TEL(直通)	076-444-3226		

KPI番号	5							
KPI名	3歳児健康診査受診率							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	97.2%	97.4%	97.8%	97.7%	97.5%	2021.11月 頃公表予定	100.0%	-
評価指標動向の説明	本県の3歳児健康診査受診率は、目標値には達していないものの、高い割合を維持している。(参考: R1 全国平均 94.6%)							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	全国平均より割合は高いが、目標達成には引き続き努力を要する。							
目標達成に向けた課題	健康診査の実施主体である市町村において、今後も引き続き未受診者への働きかけを徹底していく必要がある。							
今後の取組み	県では、引き続き各市町村の未受診者状況を把握するとともに、未受診者対策に関する市町村間の情報共有等の支援を行っていく。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	厚生部子ども支援課	班・係	子育て支援班
TEL(直通)	076-444-3208		

KPI番号	6							
KPI名	病児・病後児保育実施箇所数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	108箇所	124箇所	135箇所	147箇所	160箇所	163箇所	171箇所	95.3%
評価指標動向の説明	・市町村計画等に基づき、着実に増加している。							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	・箇所数は順調に増加していることから、「達成可能」と判断した。							
目標達成に向けた課題	・箇所数の増加に伴う、必要な人材確保と利便性の向上							
今後の取組み	・引き続き、運営費等を支援するとともに、市町村等と連携を図り、研修の充実や利便性の向上に取り組む。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	厚生部子ども支援課	班・係	子育て支援班
TEL(直通)	076-444-3208		

KPI番号	7							
KPI名	放課後児童クラブ実施箇所数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	239箇所	253箇所	262箇所	272箇所	280箇所	286箇所	313箇所	91.4%
評価指標動向の説明	・市町村計画等に基づき、着実に増加している。							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	・箇所数は順調に増加していることから、「達成可能」と判断した。							
目標達成に向けた課題	・箇所数の増加に伴う、放課後児童クラブで勤務する支援員、補助員等の人材確保。							
今後の取組み	・引き続き、整備費、運営費等を支援するとともに、市町村等と連携を図り、人材の掘り起こしや研修の充実に取り組む。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	厚生部子ども支援課	班・係	子育て支援班
TEL(直通)	076-444-3208		

KPI番号	8							
KPI名	「とやまっ子 子育て応援券」の利用率							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	81.4%	81.4%	86.2%	88.7%	87.8%	87.8%	90.0%	97.6%
評価指標動向の説明	・対象サービスの拡充や制度周知により、利用率は上昇傾向に推移してきたが、近年、横ばいの状況にある。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	・近年、横ばいの状況にあることから、「要努力」と判断した。							
目標達成に向けた課題	・利用期間内の転入・転出を考慮すると、一層の周知が必要。							
今後の取組み	・制度の周知に努めるとともに、子育て家庭のニーズに応じたサービスの充実などさらに利用しやすい制度となるよう取り組む。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	知事政策局働き方改革・女性活躍推進室	班・係	少子化対策担当
TEL(直通)	076-444-2174		

KPI番号	9							
KPI名	従業員51人～100人の企業のうち一般事業主行動計画を策定し、国に届け出た企業の割合							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	97.7%	94.6%	94.9%	92.1%	93.0%	89.6%	極力100%	89.6%
評価指標動向の説明	・一般事業主行動計画を国に届け出た企業の割合は、目標値には達していないものの依然として高い水準で推移している。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	・新型コロナウイルス感染症の影響により、企業訪問による支援ができず、R2の実績が低下したことから、「要努力」と判断した。							
目標達成に向けた課題	・企業への働きかけの方法を検討する必要がある。							
今後の取組み	・訪問による行動計画の策定支援を進めるとともに、策定に関する研修会を開催するなど、行動計画の質の向上も併せて進めていく。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	知事政策局働き方改革・女性活躍推進室	班・係	働き方改革推進担当
TEL(直通)	076-444-3137		

KPI番号	10							
KPI名	「イクボス企業同盟とやま」加盟団体数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	-	-	114団体	145団体	155団体	161団体	200団体	80.5%
評価指標動向の説明	加盟数は増加しているが、その増加数は鈍化している。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	当初想定していた1年間に10団体程度の増加があれば達成可能であるが、令和2年度中の増加数が少なく、この傾向が今後も続く場合、一層の取組みが必要と判断している。							
目標達成に向けた課題	「イクボス企業同盟とやま」への加盟によるメリットを必要に応じて再考する必要がある。							
今後の取組み	企業に対してイクボス企業同盟とやまへの加盟を促し、県内企業トップの意識改革・働き方の見直しを推進するとともに、イクボスとしての具体的な取組みを促すため、イクボスや働き方改革の実践に役立つワークショップ等を開催する。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	知事政策局働き方改革・女性活躍推進室	班・係	働き方改革推進担当
TEL(直通)	076-444-3137		

KPI番号	11							
KPI名	6歳未満の子どもを持つ夫婦の育児・家事関連時間							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	-	夫:65分 妻:441分	-	-	-	-	夫:引き上げる 妻:引き下げる	-
評価指標動向の説明	総務省調査の社会生活基本調査の指標であるが、5年ごとの調査であり、次回調査はR3年度中の予定。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	男性の家事・育児参画の促進には、県民一人ひとりの意識改革や参画しやすい職場環境づくり、働き方改革や社会全体の理解の醸成が必要であり、目標達成には不断の努力が必要となるため。							
目標達成に向けた課題	同上							
今後の取組み	男性の家事・育児参画を促進するため、ワークライフバランス実現のための働き方改革や家庭内の家事・育児分担を考えるキャンペーンの実現、乳幼児連れの多い民間施設の男性トイレ等へのおむつ交換台等の設置等を推進。							